

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学専攻 一貫制博士課程 (一般入試・春季実施)

論 述 (美学芸術学・建築思想史、デザイン論・デザイン史)

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

次の文を読み、後の問い(問1～2)に答えよ。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学専攻 一貫制博士課程 (一般入試・春季実施)

論 述 (美学芸術学・建築思想史、デザイン論・デザイン史)

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

*「広場」も「街頭」も：例えば1960年代末の新宿駅西口地下広場（直ちに「通路」と改称）におけるフォークゲリラ集会、安倍政権時ほかの首相官邸や国会議事堂を囲むデモなど、都市空間における直接行動への人々の参加を指す。

(宇野常寛「都市」の再設定『モノノメ』創刊号、2021年、pp. 36-37より)

問1 筆者が斥けている、個人と社会について従来想定されてきた都市の意義について、50字程度にまとめよ。

問2 下線部「ネットワークの裂け目に、穴に、触れること」とはどういうことか、説明せよ。またそれを踏まえ、近現代の建築・都市とグリッドの関係について自由に主題を提示し、論ぜよ。